

# 論点

## アフリカの女性・若者に投資を

アントニオ・ゲテレス氏



Antonio Manuel Gutierrez  
UN 国連事務総長。ポルトガル出身、国連難民高等弁務官を歴任。2017年1月から現職。67歳。

UN Photo / Mark Garten

世界が「まず問題ありき」というプリズムを通して見がちなアフリカを、私は希望の大陸、前途ある絶大な潜在力を持つ大陸として見ている。

アフリカの長所を生かした次元の高い協力態勢を、国連とこの大陸の指導者たちとの間に築く。こうした関係こそが包摂的で持続可能な開発を進め、平和と安全のための協力の深化に不

可欠だ。先月、エチオピアでのアフリカ連合(AU)首脳会議でこのメッセージを伝えることが、国連事務総長として最初の重要な外遊での任務となった。アフリカには深い連帯と敬意の念を抱いている。世界

は多くの知恵と着想、問題解決の方法を、この大陸から学べるはずだ。現在、国連平和維持活動の要員の過半数をアフリカ諸国が派遣している。世界で最も多く、最も寛容に難民を受け入れているのもアフリカだ。経済成長の著しい国もある。ガンビアの政治危機を解決した最近の例は、統治の難題を乗り越え、民主主義、人権、法の支配を支持する指導力を改めて示した。首脳会議を経て、アフリカの人々の声に耳を傾け、学び、共に働くことで、人類は大きな利益を得られると確信した。

計画(アジェンダ)で、2030年の目標年に向けて実施2年目に入った。AUも独自に、補完的で野心的な「アジェンダ2063」を定めている。アフリカの人々が最大の恩恵を受けるには、二つの行動計画の戦略的連携が必要だ。

まず、「危機管理」から「危機の予防」に取り組みを変え、「対応が遅すぎて不十分」という悪循環を断つことから始めるべきだ。現代の紛争の大半は権力闘争、資源争奪、格差、疎外、宗派対立が起す内戦だ。暴力的過激主義で火が付いたり、暴力的過激主義に油

を注いだりもする。その予防の最良の手段は包摂的で持続可能な開発であり、これは平和を確かなものにする最も確実な道だ。重要なのは、若者と女性に機会を与えることだ。5人に3人以上が35歳未満という人口構成を強みとするには、教育、職業訓練をはじめ、若者の未来につながる分野への投資の加速と増大が必要だ。女性には、力を発揮できる環境を整えて社会参画を促す「エンパワーメント」の取り組みの最

大化が必要だ。AUも一貫して男女平等と女性のエンパワーメントに焦点を当ててきた。女性のエンパワーメントが世界のエンパワーメントになる場面を、何度も目撃してきた。多様性に富み、活力あるこの大陸について語られがちな言説を、変えたい。アフリカが危機にあるという物語は、一面的にすぎない。次元の高い協力の舞台からは、至る所にある巨大な潜在力と素晴らしい成功に光を当てた全体像を見ることが出来る。紛争と苦しみを防ぐ最強の武器でもあり、アフリカを一層輝かせ、世界に刺激を与える持続可能な包摂的な開発の実現を、信じて疑わない。(寄稿)